

平成29年度
地域防災の活動報告

平成30年3月



NPO 法人
ひょうご地 域 防 災 サポー ト 隊

さぽーとたい

ごあいさつ

皆さまには益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。そして、私たちの防災・減災活動に、ご支援、ご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

この度、平成29年度防災活動報告をまとめましたのでお届けいたします。

私たち「ひょうご地域防災サポート隊」は、兵庫県を退職した技術職員が集い、平成18年1月にNPO法人の認証を受けました。

私たちにとっては、県職員時代に経験した「阪神・淡路大震災」が活動の原点になっています。それぞれの立場で、「安全で快適なまちづくり、地域づくり」に取り組んできていたわけですが、震災は私たちに技術の限界、想定をはるかに超える自然の力の大きさをつけつけました。また、「公助」の限界も目の当たりにする一方、「自助」「共助」が命を守り、復興に大きな役割を果たすことを学びました。

このような経験を原点として「守れいのちを！」を合言葉に、各地域に出向き、兵庫県が作成したCGハザードマップを活用するなど、それぞれの地域が内包する災害リスクを確認し、地域の方々と共に防災力向上や減災対策について考えてきました。

当法人設立の発起人であり、初代理事長として長く貢献頂いた伊藤道司氏をはじめ3名の方が退会されました。当法人を今日まで支えて頂き、また地域の防災・減災に対するご貢献に敬意と感謝を申し上げます。なお、伊藤道司氏には、当法人顧問に就任頂きました。引き続き、大所高所から助言を頂くこととしております。一方、新会員1名を迎えたので、本年度は21名で活動を行いました。

今後とも、当法人の活動につきまして、各位のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年度の災害を振り返ってみると、兵庫県は昨年度同様比較的平穏な年であったと思いますが、全国的には、「平成29年九州北部豪雨」が記憶に新しいところです。この豪雨は停滞する梅雨前線と台風3号の影響によるもので、7月5日から6日にかけての最大24時間降水量が福岡県朝倉市朝倉で545.5mm、最大1時間降水量が129.5mmにもなりました。統計開始以来の最大雨量を更新する記録的な大雨でした。

この大雨の影響で河川の氾濫、浸水害、土砂災害等が発生し、福岡県では死者が37名、行方不明者が2名（平成30年2月21日現在）、大分県では、死者が3名（平成29年8月22日現在）にも及んでいます。

主な被災地は、福岡県と大分県の県境付近の山地部で、山腹斜面の崩壊や流木被害などが目立ちました。また孤立集落も発生し、洪水等の水災害の頻発・激甚化を再認識させられる災害がありました。

平成 27 年 9 月の「関東・東北豪雨」や平成 28 年 8 月に北海道・東北地方を襲った台風 10 号等の際には、住民の逃げ遅れや家屋の浸水による甚大な被害が発生したため、「水防法の一部を改正する法律（平成 29 年法律第 31 号）」が平成 29 年 5 月 19 日に公布、同 6 月 19 日に施行されました。

国土交通省では、この法改正に先立ち、「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」との考えに立ち、「洪水等からの逃げ遅れゼロ」と「社会経済被害の最小化」を実現するため、「水防災意識社会再構築ビジョン」の取り組みを進めてきました。このビジョンに基づき、平成 29 年 6 月までに全国の国管理河川 109 水系全てについて、想定し得る最大規模降雨に基づく浸水想定区域図が作成、公表されました。今後は、都道府県管理の水位周知河川と洪水予報河川について同様の浸水想定区域図が作成、公表されることとなっています。

私たちも、このような動きを踏まえた活動が必要と思われます。

平成 29 年度の活動状況は、以下の通りです。

兵庫県阪神南県民センターの依頼を受けて、4 月 29 日から 5 月 7 日までのGW 期間中と 7、8 月の土、日、祝日に「尼ロック防災展示室」一般開放支援業務に携わりました。

また、大阪府、兵庫県、伊丹市、加西市、宍粟市、南あわじ市、芦屋市等で地震や津波、河川の氾濫や土砂災害等に対する減災対策や命を守る行動について、参加者の方々と共に考えました。宍粟市の揖保川流域の地区で、降雨災害に対する防災マップづくりに参加しましたが、ほぼ地区全体が浸水エリア等のリスクがあり、指定避難所も浸水エリアや土砂災害危険区域に入っているが、代替できる避難地が近傍には見当たらないことに、愕然とした思いを抱きました。また、いくつかの集落では、災害時に孤立が懸念される状況でした。私たちは「逃げましょう」を合言葉にしてきましたが、いつ、どこに、どのように逃げるかを地域の方々と一緒に考えることが重要と痛感しました。

東日本大震災から 7 年が経ち、首都直下型地震や南海トラフ巨大地震が懸念される中、防災・減災のための法整備やインフラ対策に加え、啓発活動等のソフト対策も進められています。

私たちも、最新の防災・減災対策の動向に关心を払いながら、研鑽を積み、地域の防災力向上に引き続き貢献して行きたいと考えています。

引き続き、関係各位のご理解、ご助力をお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月吉日
ひょうご地域防災サポート隊
理事長 井上俊廣

目次

I. 防災啓発活動（出前講座）	1
II. 防災啓発活動（防災訓練等支援）	4
III. 防災啓発活動（防災マップづくり等支援）	8
IV. 防災啓発活動（防災展示室一般開放支援）	20
V. その他の活動	24

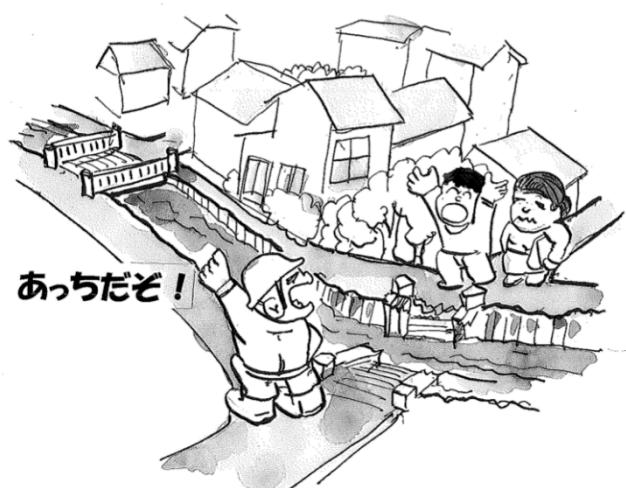


I. 防災啓発活動（出前講座）

私たちは、防災知識の普及啓発活動として、自治体等の依頼を受け、地域住民や自治体職員等を対象に2地区で、出前講座を実施しました。

実施地区一覧表

NO	開催日	活動内容	開催場所	担当者
1	H29.07.18	「大阪府ため池総合整備推進協議会」講演	ホテル プリムローズ	常友 永市
2	H30.03.15	芦屋市東山地区防災マップ作り 支援業務	尼崎信用金庫 芦屋支店	井上 俊廣 釜谷 正博



1・「大阪府ため池総合整備推進協議会」講演

1. 依頼者： 大阪府ため池総合整備推進協議会

2. 開催日： 平成29年 7月18日（火）

3. 開催場所： ホテルプリムローズ

4. 講演等の相手：

大阪府市町村担当職員

市町村職員（37名）大阪府職員他（17名）

参加者：54名

5. 講演者： 常友永市

6. 講演内容：

ため池の防災・減災について

（1）防災・減災の基本

（2）過去の災害（豪雨・地震津波）

（3）近年の災害から見た課題

（4）情報と予測



2・芦屋市東山地区防災マップ作り支援業務

1. 依頼者：芦屋市

2. 開催日：平成30年 3月15日（木）

3. 開催場所：尼崎信用金庫芦屋支店

4. 講演等の相手：

対象者：芦屋市東山町自治会役員

参加人数：20名、他に市職員5名



5. 講演者：井上俊廣（補助）釜谷正博

6. 講演内容：

講演：土砂災害を中心とした、「地区防災マップづくりの進め方」と地区を通る活断層の存在を踏まえた、「地震災害について」

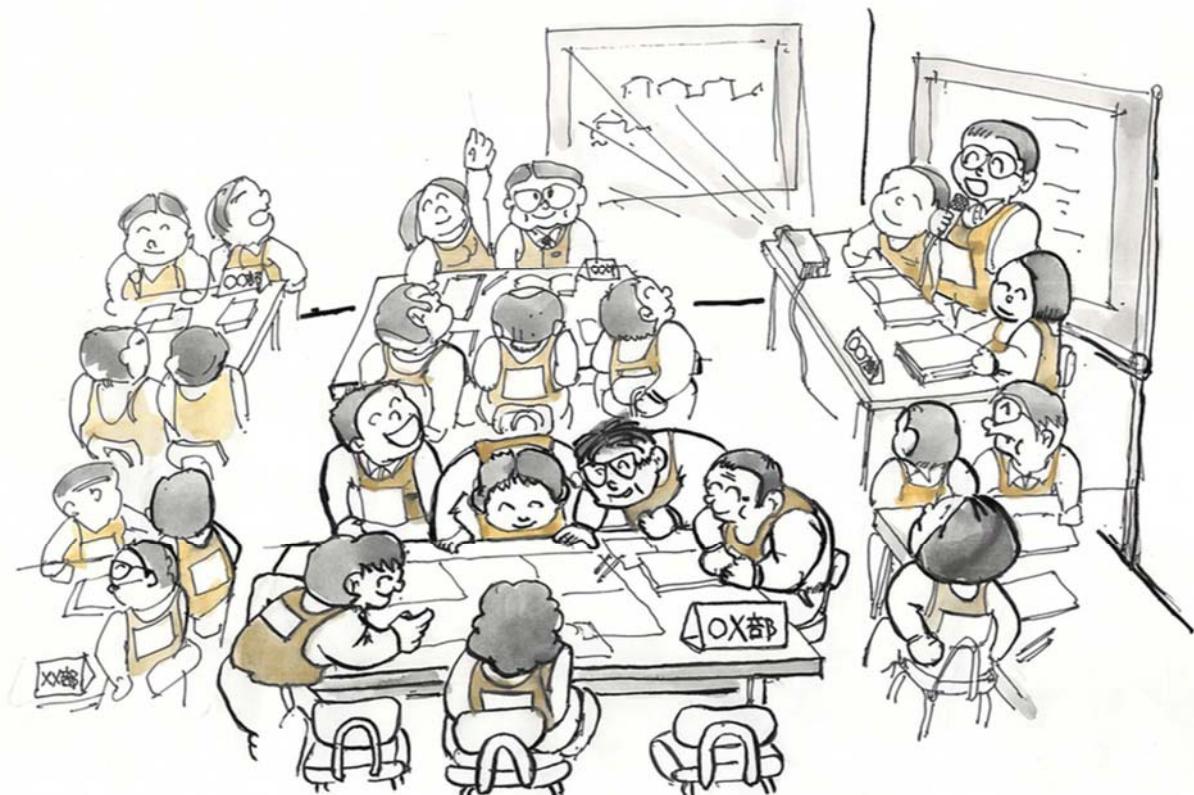


II. 防災啓発活動（防災訓練等支援）

私たちは、地域の自治体等の要請にもとづき、水防活動の技術支援や防災啓発活動を通じて図上防災訓練に参加するなど、3地区において支援活動を行いました。

実施地区一覧表

NO	開催日	支援内容	支援場所	担当者
1	H29.06.09	加東土木事務所 水防工法技術研修会	一級河川千鳥川 左岸河川敷(加東市)	谷田 登志晴
2	H29.09.22	平成29年度 阪神南県市合同防災訓練	阪神南県民センター	井上 俊廣 阪出 裕昭
3	H29.11.30	平成29年度 伊丹市防災図上訓練	伊丹市防災センター	井上 俊廣 釜谷 正博 阪出 裕昭



1・平成29年度水防工法技術研修会

1. 依頼者： 北播磨県民局加東土木事務所
2. 開催日： 平成29年度 6月 9日（金）
3. 支援場所： 一級河川千鳥川 左岸河川敷
(加東市)
4. 支援等の相手：
加東土木事務所・管内市町職員（25名）
(一社) 北播磨建設業協会（80名）
参加者：105名



5. 講演者： 谷田登志晴

6. 講演内容：

演習：

水防工法（改良積み土のう工、シート張り工、木流し工等）の実地指導



神戸新聞 2017年06月10日 土曜日 面名 北播 13 29ページ

水防工法 業者ら学ぶ

加東の河川敷で水害に備え
梅雨や台風の水害に備えよう、兵庫県加東土木事務所が9日、加東市社会福祉法人ひょうご地
域防災サポート隊（太子町）の谷田登志晴さんが指導。千鳥川の河川敷で水防工法技術研修会を開いた。建設業者や各市町の職員計103人が参加し、土のうの積み方など3種類の工法を学んだ。

県の元土木関係職員でつくるNPO法人ひょうご地域防災サポート隊（太子町）の谷田登志晴さんが指導。堤防の斜面を覆つて土が削り取られるのを防ぐシート張り工法は、ビニールシート（縦約5m、横約4.5m）にロープで鉄パイプを固定するなどの手順を実践した。

いずれも明治期以来の伝

統的な工法で、堤防の被害を軽減し、避難時間をかせぐ効果があるという。小野

市道路河川課の後藤千尋さ

んは「土のうは上流から下

流に向けて積み目が重なる

ように積むと効果があった」

手間かけるだけで効果が違う。参考になった」と話していた。（桑野博彰）



シート張り工法を実践する研修会の参加者＝加東市社

(C)神戸新聞社 無断転載・複製および領収は禁止します。

2・平成29年度阪神南県市合同防災訓練

1. 依頼者： 兵庫県阪神南県民センター
2. 開催日： 平成29年 9月22日（金）
3. 支援場所： 阪神南県民センター会議室
4. 支援等の相手：
阪神南県民センター職員 23名



5. 講演者： 井上俊廣・阪出裕昭

6. 講演内容：

訓練についての講評

(訓練内容)

9時5分に南海トラフ地震（M9.1）が発生し、その後数時間の初動活動を確認。

(活動シナリオは、「兵庫県応急対応行動シナリオ[南海トラフ地震・津波]」に準拠)

1. シェイクアウト訓練（来庁者、職員等）
2. 災害対策地方本部設置、情報伝達訓練



3・平成29年度伊丹市防災図上訓練アドバイザリー業務

1. 依頼者：伊丹市

2. 開催日：平成29年11月30日（木）

3. 支援場所：伊丹市防災センター

4. 支援等の相手：

市総括本部事務局職員（20名）
各対策部（10部11名） 合計：31名



5. 講演者：井上俊廣
(ファシリテーター) 釜谷正博・阪出裕昭

6. 講演内容：

1. 防災ワークショップでの講演

「地震災害時の対応について考える～災害対策要員として、市民を守るために～」

- ① 伊丹市域に被害を及ぼす地震等に対する基礎知識
- ② 市防災計画が想定する地震被害等
- ③ 地震情報への対応
- ④ 自身と家族の安全確保～災害対策要員としての役割を果たすために

2. 総括本部事務局が受ける外部情報に対し、各対策部が対応するという図上訓練に対する意見



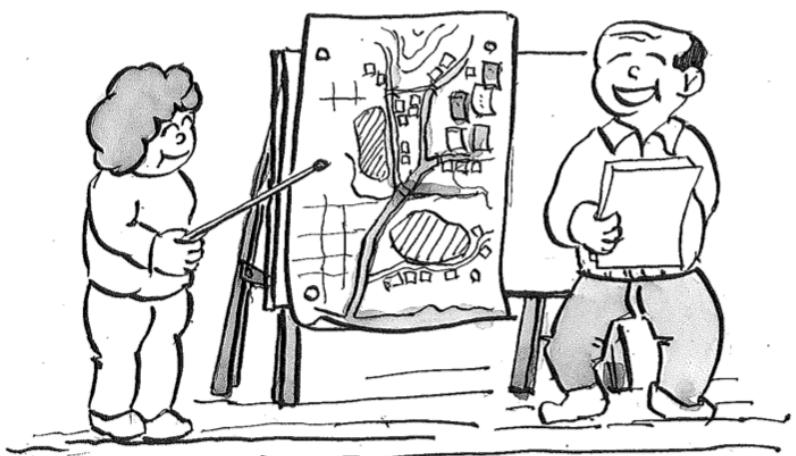
III. 防災啓発活動（防災マップづくり等支援）

自主防災組織の活性化を図り、地域の防災組織の向上を図る取り組みの一つとして、地域の人たちによる手作りの「地域防災マップづくり」や「DIG 訓練」、「ワークショップ」等を自治体や自主防災組織等、また、小学校の児童や教職員を対象に10地区において、支援活動を実施しました。

実施地区一覧表

NO	開催日	事業内容	開催場所	担当
1	H29.09.02	加西市賀茂小学校区 DIG 訓練	加西市賀茂会館 2階ホール	中村 誠 井上 俊廣 釜谷 正博 窪田 彰彰 廣田 誠一 元井 賢一
2	H29.10.15	宍粟市山崎町神野地区 自主防災マップ作成講習会	宍粟防災センター	榎原 敏夫 井上 俊廣 阪出 裕昭 谷田 登志晴 森脇 康仁
3	H29.10.29	宍粟市山崎町河東地区 自主防災マップ作成講習会	宍粟市 河東ふれあいセンター	阪出 裕昭 井上 俊廣 釜窪 正博 谷川 彰男 寺田 幸良 廣田 誠一
4	H29.11.01	南あわじ市立榎列小学校 教職員 DIG 学習	榎列小学校 本館 2階会議室	寺田 良幸 谷川 俊男
5	H29.12.10	宍粟市山崎町鳴沢地区 自主防災マップ作成講習会	宍粟防災センター	阿山上 耕三 井橋 俊廣 高崎 伸彦 林伸 健兒 廣田 誠一 元井 賢一
6	H30.01.17	南あわじ市立賀集小学校 防災学習	賀集小学校校内	釜谷 正博 谷川 俊男 寺田 良幸 林 健兒 廣田 誠一 森脇 康仁

7	H30.01.17	南あわじ市立榎列小学校 DIG 学習	榎列小学校体育館	寺 田 良 幸 谷 川 俊 男 林 林 児 健 誠 廣 田 康 仁 森 脇 康 仁
8	H30.01.28	宍粟市山崎町 自主防災マップ作成講習会	宍粟防災センター	谷 田 登 志 晴 阿 山 三 耕 夫 榎 原 敏 彦 高 崎 伸 幸 寺 田 良 幸 元 井 賢 一 森 脇 康 仁
9	H30.02.11	宍粟市山崎町 自主防災マップ作成講習会	宍粟防災センター	阪 出 裕 昭 釜 谷 正 博 高 橋 伸 明 谷 川 俊 男 谷 田 登 志 晴 元 井 賢 一 森 脇 康 仁
10	H30.03.27	芦屋市三条地区 防災マップづくり支援業務	芦屋市役所三条分室	井 上 俊 廣 釜 谷 正 博 寺 田 良 幸



1・加西市賀茂小学校区 DIG 訓練

1. 依頼者 : 加西市
2. 開催日 : 平成29年9月2日(土)
2. 開催場所 : 加西市賀茂会館 2階木
ール
4. 講演等の相手 :

加西市賀茂校区地区役員
参加者：39名



5. 講演者 : 中村誠
(ファシリテーター) 井上俊廣・釜谷正博・窪田彰・廣田誠・元井賢一
6. 講演内容 :

1. 講演:
「地震に備える～地域で取り組む減災～」
2. DIG 演習



2・宍粟市山崎町神野地区自主防災マップ作成講習会

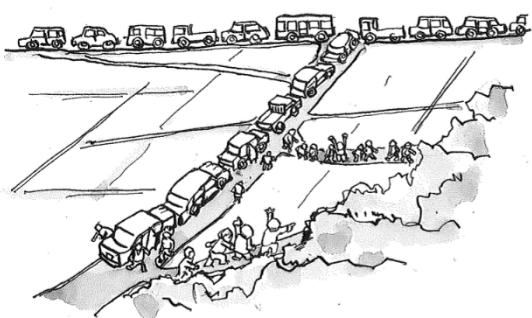
1. 依頼者：宍粟市
2. 開催日：平成29年10月15日（日）
3. 開催場所：宍粟防災センター
4. 講演等の相手：
宍粟市山崎町神野地区8自主防災会
(清野、木ノ谷、与位、田井、杉ヶ瀬、さつき台、
五十波、三津)
参加者：自主防災会（25名）、市役所（5名）
計 30名



5. 講演者：榎原敏夫
(ファシリテーター)井上俊廣・阪出裕昭・谷田登志晴・森脇康仁
6. 講演内容：
 1. 講演：
「豪雨災害の危険と防災マップづくりの必要性」
 2. マップづくり



車での避難は…



3・宍粟市山崎町河東地区自主防災マップ作成講習会

1. 依頼者：宍粟市
2. 開催日時：平成29年10月29日(日)
3. 開催場所：宍粟市河東ふれあいセンター
4. 講演等の相手：
宍粟市山崎町河東地区11自主防災会
(須賀沢、出石、高所、中、中さつき、中山、三谷、
神谷、矢原、岸田、野々上)
参加者：自主防災会（34名）市役所（6名）
計40名



5. 講演者：阪出裕昭
(ファシリテーター)井上俊廣・釜谷正博・窪田彰・谷川俊男・寺田良幸
廣田誠

6. 講演内容：

1. 講演：
「豪雨災害の危険と防災マップづくりの必要性」
2. マップづくり



4・南あわじ市立榎列小学校教職員 DIG 学習

1. 依頼者： 南あわじ市立榎列小学校
2. 開催日時： 平成27年11月 1日(水)
3. 開催場所： 榎列小学校本館2階会議室
4. 講演等の相手：
榎列小学校教職員
参加者：21名



5. 講演者： 寺田良幸
(ファシリテーター)谷川俊男
6. 講演内容：
 1. 目的；災害を知り、まちを知り、人を知る学習を通して
此れから起こり得る災害に対し危機意識を子ども目線で考える
 2. 講演；「～三原平野の自然災害リスク～」
 - ①増大する自然災害リスク
 - ・揺れる日本列島・異常気象と水害・三原平野の自然災害
 - ②災害…幾つかの教訓
 - ・阪神・淡路大震災・東日本大震災・鬼怒川水害
 - ③命を守る為に
 - ・生活の場を良く知る・建築物の耐震化、家具の転倒防止・早期避難の大切さ
 3. ワークショップ；
 - ・「DIG」…改めて DIG を考える…子供の為に
 4. 「榎列小学校に於ける避難所運営マニュアル(改訂版)」の確認
 - ・マニュアル改訂版のブラッシュアップの為に…意見聴取、議論

総合講評；谷川俊男



5・宍粟市山崎町鳴沢地区自主防災マップ作成講習会

1. 依頼者：宍粟市

2. 開催日：平成29年12月10日(日)

3. 開催場所：宍粟防災センター

4. 講演等の相手：

宍粟市山崎町鳴沢地区10自主防災会
(生谷、下町、宇野、片山、下牧谷、上牧谷
大谷、東下野、中野、上ノ下)

参加者：40名



5. 講演者：阿山耕三

(ファシリテーター)井上俊廣・高橋伸明・高崎伸彦・林 健児・廣田 誠
元井賢一

6. 講演内容：

1. 講演：

「豪雨災害の危険と防災マップづくりの必要性」

2. マップづくり



6・南あわじ市立賀集小学校防災学習

1. 依頼者：南あわじ市立賀集小学校
2. 開催日：平成30年 1月17日(水)
3. 開催場所：賀集小学校校内、体育館
4. 講演等の相手：
賀集小学校6年生
25名



5. 講演者：釜谷正博
(ファシリテーター)谷川俊男・寺田良幸・林 健児・廣田 誠・森脇康仁
6. 講演内容：
防災学習の内容
 1. 事前講義（南海トラフ地震について）：防災学習前に実施
 2. 防災学習
 - ・地震の揺れにより、危険な物についての講習
倒れるもの、割れるもの、落ちてくるもの
 - ・校内調査のやり方の説明
 - ・調査結果のまとめ方の説明
 3. 校内調査の実施
 - ・調査：校内を5つに分け、5班が危険なものを調査し、図面に記載する
 - ・まとめ：調査の結果を図面に記載し、発表のやり方を考える
 4. 全校集会での調査結果の発表
 - ・全校集会で、担当調査区域内の危険なものを5班がそれぞれ発表する



7・南あわじ市立榎列小学校 DIG 学習

1. 依頼者： 南あわじ市立榎列小学校

2. 開催日時： 平成30年 1月17日（水）

3. 開催場所： 榎列小学校体育館

4. 講演等の相手：

榎列小学校5・6年児童、PTA本部役員・地区役員

保護者、教職員

参加者：約110名



5. 講演者： 寺田良幸

（ファシリテーター）谷川俊男・林 健児・廣田 誠・森脇康仁

6. 講演内容：

1. 目的：

DIG 学習を通して、災害時の被害を想像し、自分の命を守る為の行動を考える等、児童の防災力を高める

2. 講演；“守れ命を”～三原平野と自然災害リスク～…生活の場を知る

① 三原平野

・三原平野の概要 ・三原平野は昔は入り江？ ・三原平野の断面図(構造)

② 榎列小学校

・小学校付近の三原川 ・扇状地と小学校 ・小学校の位置

③ 自然災害の事例

・地震被害 ・津波被害 ・洪水被害

3. DIG 学習：

①地区を知る…通学路、学校、自宅、避難所、ハザードマップを記入

②地図上で災害を想像する…危険な場所、安全な場所は？

③登校中に地震に遭遇する…避難する際気を付ける事

④意見交換



8・宍粟市山崎町自主防災マップ作成講習会

1. 依頼者：宍粟市

2. 開催日：平成30年1月28日（日）

3. 開催場所：宍粟防災センター

4. 講演等の相手：

宍粟市山崎町西町他11自治会

（西町、元山崎、北魚町、紺屋町、山田町、山田、
富士野町、旭町、上寺、庄能北、中鹿沢、西鹿沢）

参加者：自治会32名、市役所6名 計38名



5. 講演者：谷田登志晴

（ファシリテーター）阿山耕三・榎原敏夫・高崎伸彦・寺田良幸・元井賢一
森脇康仁

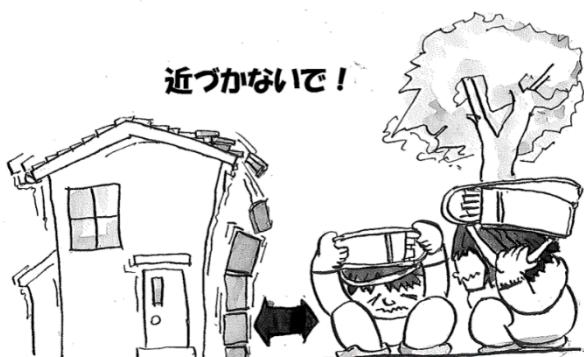
6. 講演内容：

1. 講演：

「豪雨災害の危険性と自主防災マップの必要性」

2. 演習：自主防災マップづくり作業

* 12自治会を6班編成として作業を行い、最後に成果を各自治会から報告した



9・宍粟市山崎町自主防災マップ作成講習会

1. 依頼者：宍粟市

2. 開催日時：平成30年 2月11日（日）

3. 開催場所：宍粟防災センター

4. 講演等の相手：

宍粟市山崎町山崎地区12自主防災会

（本町、横須、福原町、出水町、寺町、井沢町、
鴻ノ町、中広瀬、大歳町、庄能南、門前、加生）

参加者：自主防災会32名、社会福祉協議会4名
市役所6名 計42名



5. 講演者：阪出裕昭

（ファシリテーター）釜谷正博・高橋伸明・谷川俊男・谷田登志晴
元井賢一・森脇康仁

6. 講演内容：

1. 講演：

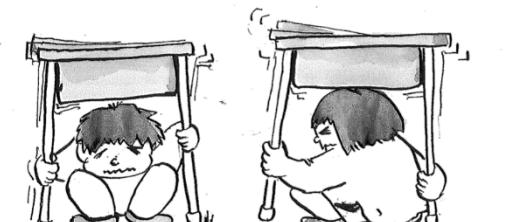
「豪雨災害の危険性と自主防災マップの必要性」

2. 演習：自主防災マップづくり作業

* 12自治会を6班編成として作業を行い、最後に成果を各自治会から報告した。



自分の命は自分で！



10・芦屋市三条地区防災マップづくり支援業務

1. 依頼者：芦屋市
2. 開催日時：平成30年 3月27日（火）
3. 開催場所：芦屋市役所三条分室
4. 講演等の相手：
芦屋市三条町自治会員
参加者：33名 他に市職員3名がファシリテーター
5. 講演者：井上俊廣
(ファシリテーター) 釜谷正博・寺田良幸
6. 講演内容：
土砂災害を中心とした、「地区防災マップづくり」



IV. 防災啓発活動（尼ロック防災展示室一般開放支援）

兵庫県阪神南県民センター尼崎港管理事務所からの要請により、尼崎閘門（通称“尼ロック”）に設置されている防災展示室が、GW期間中（4月29日から5月7日まで）及び7月、8月の土曜日、日曜日、祝日に一般開放されたのに際し、その支援業務を行い、地域の子供たちなどの住民への高潮・津波などの災害に対する啓発への支援を行いました。

1. 依頼者：阪神南県民センター
尼崎港管理事務所
2. 開催日時：前期：4月9日～5月7日（毎日）
後期：7月1日～8月27日
(期間中の土日祝日)
3. 開催場所：尼ロック防災展示室
(尼崎閘水門管理所内)
4. 参加者：
一般県民他：496名
大人382名・中学生以下114名



5. 業務従事者：総括：釜谷正博
阿山耕三・井上俊廣・梶谷義昭・窪田彰・榎原敏夫・阪出裕昭・高崎伸彦・高橋伸明・谷川俊男
谷田登志晴・常友永市・寺田良幸・中村誠・西垣嘉夫・林健児・廣田誠・元井賢一・森脇康仁
6. 活動内容：

尼ロック防災展示室の一般開放支援業務

■一般開放チラシ



(前期) GW 期間中



■防災フェスティバル(4月29日)のチラシ

尼ロック 防災フェスティバル
4月29日(土)1日限定!

尼崎港クルーズ **無料**

尼崎運河博覧会の様子 (2015.5.28)

で尼ロックを通り、尼崎港を回り、海からの景色を楽しみませんか？尼ロックを船が通るしくみを直接目でみることができます。

出航時間：11時、12時、13時、14時、15時 出航
(各出航ごとに定員になりしだい締め切りります)

バックヤードツアー **無料**

○東浜排水機場
尼崎市内で降った雨を海に排水するためのポンプ場で、県下では最大クラスの排水機場です。
職員が運河から海に排水する方法などについて、案内・説明します
(定員に達した場合は、参加できない場合があります)

! ?

ツア一時間：
11時30分、12時30分、13時30分
14時30分、15時30分 出発
(定員になりしだい締め切りります。)

海上ウォーク **無料**

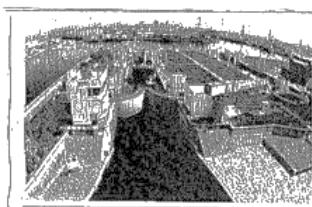
○尼ロック(尼崎閘門)
船が来ない時間帯には、職員の案内で尼ロックを可動構の上から見学できます。



(後期) 7月1日～8月27日



[新聞記事]



は尼崎港ブルースティバルで
組み船船上から体験できる
「尼崎港ブルース」(当田)
受け付け、1回定員約30人。
11～15時の定時(田辺)▷
東浜排水機場を見学する
「バックヤードツアー」(当田)
受け付け、1回定員約30人。
11時半～15時半の定時
に出发▽海王丸(尼)
ロック可動橋の上から見
学する。随時)一が楽しめ
る。いずれも無料。
「防災展示室」も29日～
5月17日の毎日、午前10時～午
後4時。尼崎市営業事務所。
施設課☎06-6409-9.

防災について学ぼう

神戸新聞

2017年4月29日

運河巡り尼ロック 身近に

親子ら防災学習



神戸新聞

2017年4月30日

閘門「尼ロック」のしくみ 防災展示室を公開



讀者新聞

2017年7月2日

津波や高潮による被害を防ぐに尼崎市西海岸町の「ロック」(尼崎閘門)で、日、防災展示室の夏季一丸開放が始まった。7、8日の土日祝日の計20日間で、午前10時～午後4時。
工業用水くみ上げで地域
沈下が進んだ尼崎市は、土地の約3分の1が海面以下の「ゼロメートル地帯」。尼ロックは海と運河の水位差を調整して船を通す日本最大級の閘門で、高潮などによく海水浸入の阻止も担当。こうした役割を知って、もう一度尼崎港管理事務

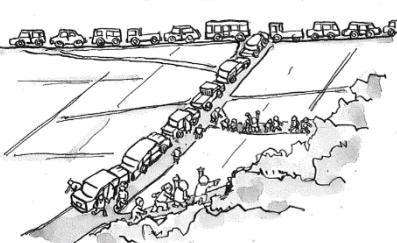
が毎年開放し、集中コン、の模型（50分の1）や歴史を解説するパネル並ぶたかつて閘門の開閉に使われた操作台にも触れられる。展望テラスでは閉鎖の様子も間近で見られ、この口も幅17mの門を通って運河に入る船の姿に見学者ら歓声を上げていた。

事前予約は必要なく、無料。担当者は「夏休みのみの自由研究にぜひ」と来場を呼びかけている。問い合わせは同管理事務所（06-6409・1356）。

閘門「尼ロック」のしくみ 防災展示室を公開

A man with grey hair and a white shirt is looking towards the right side of the frame. In the background, there is a large, detailed model of an industrial facility or ship under construction, featuring various levels, walkways, and a blue hull.

車での避難は…



V. その他の活動

当法人のメンバーが兵庫県の協議会委員や地元自治会での活動により、防災の普及啓発活動を行いました。

実施場所等

NO	開催日	事業内容	開催場所	参加者
1	H30.01.23	阪神西部（武庫川流域圏） 地域総合治水推進協議会	尼崎市 中小企業センター	井上 俊廣
会員の地元自治会での活動				
2	H29.11.19	ベルタウン町内会（自主防） 防災講演会	ベルタウン町内会 集会所	阿山 耕三



1・阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進協議会

1. 依頼者：兵庫県
2. 開催日時：平成30年1月23日（火）
3. 開催場所：尼崎市中小企業センター1F多目的ホール
4. 委員：井上俊廣
5. 主な議題：

報告事項：「阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進協議会設置要綱の改正について」
議事：

- 1 阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進計画の取り組みについて
- 2 同計画の見直しについて
- 3これまでの取り組みの効果検証
- 4意見交換

2・ベルタウン町内会（自主防）防災講演会

1. 依頼者：加古川市東神吉町 ベルタウン町内会
2. 開催日時：平成29年11月19日（日）
3. 開催場所：ベルタウン町内会集会所
4. 講演等の相手：
団体名：ベルタウン町内会自主防災組織
参加人数：自主防災組織役員 及び 住民 40名
5. 講演者：阿山耕三
6. 講演内容：
(1) 防災倉庫 資機材点検
(2) 講演 「我がまちの自然災害の危険度」
① 大雨洪水災害の危険度（一級河川・加古川）
② 南海トラフ巨大地震と内陸地震の危険度



特定非営利活動法人

ひょうご地域防災サポート隊

(平成18年1月5日設立)

私たちの

地域防災活動への

ご支援ご協力

ありがとうございました

今後ともよろしく

お願いします

私たちは、NPO 法人「ひょうご地域防災サポート隊」を設立し、地域の人々に対して、安全安心のまちづくりの推進のため、その地域に合った防災・減災対策等についての様々なサポート活動を行います。

平成 30 年 3 月

理事長	井上 俊廣
副理事長	高橋 伸明
理 事	釜谷 正博
同	窪田 彰
同	榎原 敏夫
同	阪出 裕昭
同	谷川 俊男
同	中村 誠
同	廣田 誠
同監	森脇 康仁
事	高崎 伸彦
同会	常友 永市
員	阿山 耕三
同	梶谷 義昭
同	谷田 登志晴
同	寺田 良幸
同	中濱 公生
同	西垣 嘉夫
同	林 健児
同	溝口 壽孝
同	元井 賢一

ホームページ

<https://support-tai.org/>

(地域防災サポート隊で検索して下さい。)

連絡先

〒671-1511

兵庫県揖保郡太子町太田 463 番地 1
(廣田方)

Tel/Fax 0792 (76) 3907

E-mail info@support-tai.org